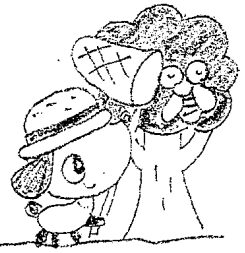


# もも組だより 8月号

平成29年8月18日 ことり保育園 担当:田野



夏の間、水遊びをする子ども達の目は、キラキラと輝いて、“元気のパワー”を、日々感じていました。

さて、先日、セミの抜け殻を見つけた保育者が子ども達に見せると、「何?」「小布い…」と、少し警戒しながらも興味津々でした。それから、絵本の中でセミを見つけると、「見て!」と教えてくれます。「そうだね、抜け殻見たよね。」と、「これは?」と違う虫も指差します。「これはカブト虫。」「こっちはクワガタ。」などとやりとりが続き、興味は広がっていきました。

また、製作をしているとき、いつもは、それほど自分から声を出さない子が何かを言っているのを、近付いて耳を澄ませると、「カエルのうたが、聞こえて…」と『カエルのうた』を歌っていました。日頃よく歌っていた曲なので、ふと思い出したのかもしれません。とても微笑ましいひとときでした。

まもなく、本園での慣れない生活が始まり、ちょっぴり不安もありますが、電車の見える土手を散歩したり、たくさんの生き物に出会えると、思うと楽しみでもあります。それを成長に繋げられるよう、配慮していきます。

